

経営比較分析表（令和3年度決算）

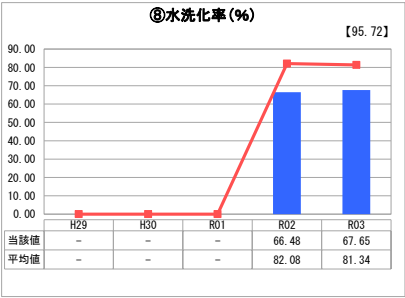
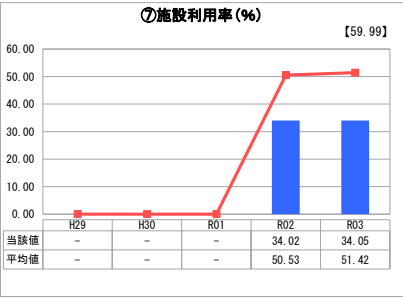
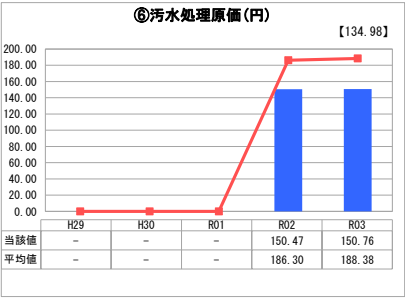
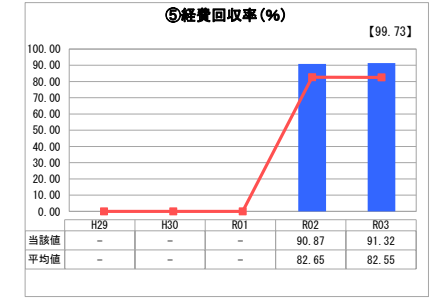
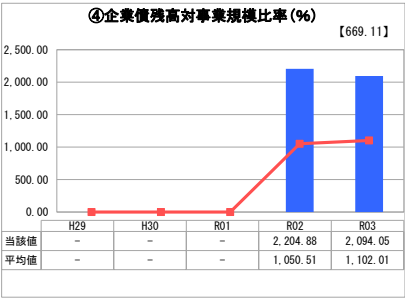
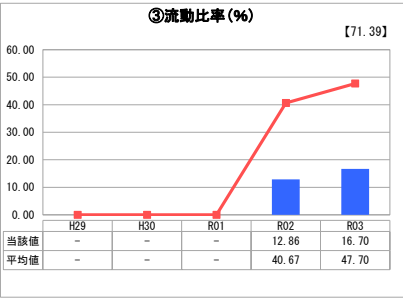
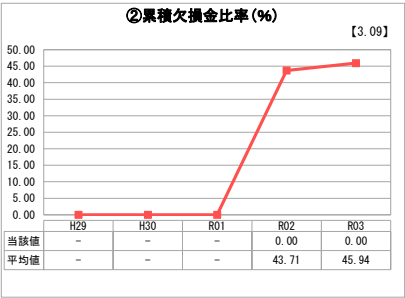
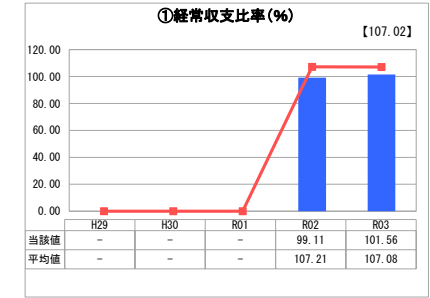
大分県 杵築市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.36	27.11	94.65	2,750

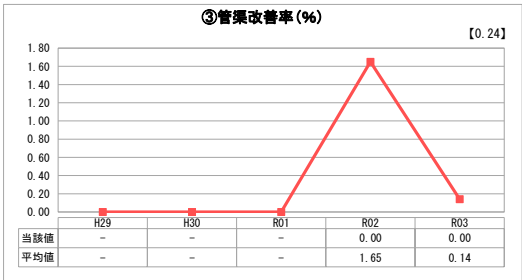
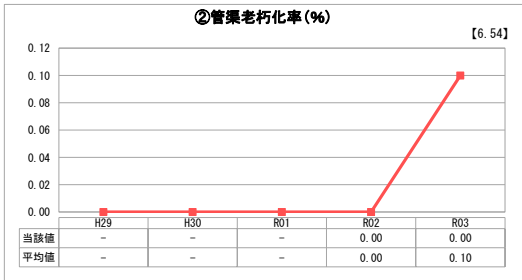
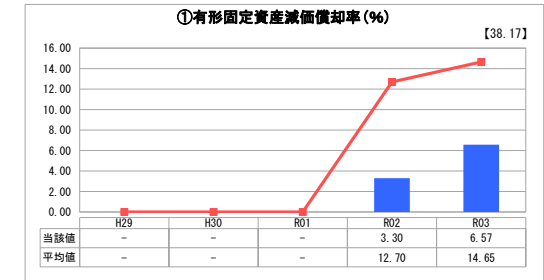
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,638	280.08	98.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,453	2.75	2,710.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、使用料収入の増により、わずかに100%を上回るが、類似団体平均値を下回っているため更なる収入確保と経費削減を図る必要がある。

③ 流動比率は、本市では下水道整備区域の整備を現在も実施しており、起債の借入額が多いことが流動比率が低くなっている要因と思われる。更なる収入確保等により流動資産の確保が必要である。

④ 企業債残高対事業規模比率は、現在も起債を財源とした整備を行っていることから、事業完了まで平均を上回る見込みである。

⑥ 汚水処理原価は類似団体平均値を下回っている。今後も費用削減等に努める。

⑤ 経費回収率は、類似団体平均値を上回っているものの100%を下回っている。また、⑦施設利用率は類似団体平均を下回っており、いずれも⑧水洗化率の伸び悩みが要因と思われる。前年度に比べ水洗化率がわずかに増加しているため、経費回収率及び施設利用率もそれに伴い増加しているが、水洗化率は類似団体平均を下回っていることから更なる接続率向上のための働きかけを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 令和2年度が法適用初年度であり、減価償却累計額としては2年分しか計上されていないため、類似団体平均より低くなっているが、供用開始後約20年経っているため、処理場施設等について、ストックマネジメント計画を策定し計画的な改築更新を行っている。

②、③ 管渠の耐用年数は経過していないものの、下水道施設のライフサイクルコストの最小化や計画的な予防保全による安全性の確保のため、ストックマネジメント計画を策定し運用している。

全体総括

施設利用率が低く、経費回収率はわずかに100%を下回っており、更なる経営改善を図る必要がある。要因の一つとして水洗化率が低いことがあげられることから、接続率の向上により使用料収入の確保に努める。

また、老朽化対策としては、現在策定中のストックマネジメント計画をもとに施設の計画的な改築更新を行いライフサイクルコストの最小化や標準化を図っていき、適正な施設管理を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。